

令和5年度 事業報告書

公益社団法人日本近代五種協会

令和5年度、本協会としてできる限りの諸事業を次のように実施した。本協会の社会的役割を深く認識し、競技の振興と普及を目指し国内外の情報を分析して競技の発展に努めると共に、上部団体、加盟団体、並びに関係機関や団体との連携を強化し、諸事業を行った。新型コロナの関係で実施できなかった合宿、大会等を実施することができた。

1. 我が国の近代五種競技に係る競技力の向上に関すること

① 国際大会派遣

(1) 日本スポーツ振興センター競技力向上事業助成

ア ワールドカップシリーズに選手団を派遣した。

(ア) ワールドカップ第2戦トルコ大会（アンカラ市）

2023年4月8日～4月18日：選手8名、スタッフ6名

(イ) ワールドカップ第3戦ハンガリー大会（ブダペスト市）

2023年4月24日～4月30日：選手3名、スタッフ3名

(ウ) ワールドカップ第4戦ブルガリア大会（ソフィア市）

2023年5月5日～5月16日：選手7名、スタッフ5名

(エ) ワールドカップ・ファイナル トルコ大会（アンカラ市）

2023年5月28日～令和5年6月6日：選手2名、スタッフ2名

(オ) ワールドカップ第1戦エジプト大会（カイロ市）

2024年3月2日～3月12日：選手5名、スタッフ4名

イ ジュニア世界選手権大会（リトアニア共和国（ドルスキナイ市））に選手団を派遣した。

2023年9月9日～9月20日：選手3名、スタッフ4名

ウ シニア世界選手権大会（イギリス（バース市））に選手団を派遣した。

2023年8月18日～8月30日：選手3名、スタッフ3名

エ アジア競技大会（中華人民共和国（杭州市））に選手団を派遣した。

2023年9月15日～9月25日：選手6名、スタッフ4名

オ U17世界選手権大会（エジプト・アラブ共和国（アレクサンドリア市））に選手団を派遣した。

2023年7月9日から7月17日：選手6名、スタッフ2名

カ U19世界選手権大会（トルコ共和国（イスタンブール市））に選手団を派遣した。

2023年7月21日～7月31日：選手2名、スタッフ2名

キ ビアスレ・トライアスレ世界選手権大会に選手団を派遣した。

2023 東南アジアレーザーラン・トライアスレチャンピオンシップ（タイ：パタヤ）

・2023年5月17日～5月23日：選手6名・スタッフ4名

2023年 UIPM ビアスレ・トライアスレ世界選手権大会（インドネシア：バリ島）

・2023年10月31日～11月7日：選手10名・スタッフ9名

② 国内強化合宿

(1) 日本スポーツ振興センター競技力向上事業助成

ア ジュニア・ユース国内合宿①

2023年4月22日～4月28日（自衛隊）：選手10名、スタッフ3名

イ ジュニア・ユース国内合宿②

2023年6月10日～6月15日（自衛隊）：選手3名、スタッフ2名

ウ ジュニア・ユース国内合宿③

2024年3月17日～3月20日（リソルの森）：選手11名、スタッフ5名

エ 3種競技の次世代選手合宿を年7回実施した。

(2) JRA 助成事業

シニア 2 回、ジュニア・ユース 2 回、次世代選手 2 回の馬術強化合宿を実施した。

ア シニア

a 第 1 次シニア NT 馬術強化合宿（海外合宿：ハンガリー（ブダペスト市内））
2023 年 5 月 17 日～24 日：選手 3 名、スタッフ 3 名

b 第 2 次シニア NT 馬術強化合宿（海外合宿：ハンガリー（ブダペスト市内））
2023 年 5 月 1 日～7 日：選手 6 名、スタッフ 5 名

イ ジュニア・ユース

a 第 1 次ジュニア・ユース馬術強化合宿

2023 年 6 月 19 日～月 23 日（リソルの森）：選手 6 名、スタッフ 3 名

ウ 3 種競技の JRA 次世代選手合宿を年 2 回実施した。

③ 日韓競技力向上スポーツ交流事業

(1) 韓 国：2023 年 8 月 24 日～8 月 29 日 選手 10 名、スタッフ 3 名

(2) 日 本：2023 年 12 月 4 日～11 月 9 日 選手 10 名、スタッフ 4 名

2. 近代五種競技の普及に関すること。

(1) 各所において「射撃、フェンシング、馬術」の体験教室を実施した。

(2) 協会ホームページの充実をはかり、広く会員を募集するとともに企業と連携した普及活動を実施した。

3. 近代五種競技に係る競技大会に関すること。

□JSC スポーツ振興基金助成事業

(1) 第 63 回全日本選手権大会（令和 5 年 11 月 23 日～25 日）を開催した。

大会は静岡県御殿場市近郊において開催した。

(2) 第 11 回近代 3 種日本選手権大会兼第 18 回 JOC ジュニアオリンピックカップ（令和 5 年 12 月 3 日）を開催した。

□JSC スポーツくじ助成事業

(3) 令和 5 年レーザーラン大会 in 立川（令和 5 年 10 月 1 日）を開催した。

4. 公益財団法人日本オリンピック委員会及び公益財団法人日本スポーツ協会への加盟に関すること。

(1) 評議員会、総会に出席した。

(2) スポーツ指導者育成に関する会議に出席した。

(3) 情報システムに関する会議に出席した。

(4) 競技力強化に関する連絡会議等に出席した。

(5) その他運営に関する協力を全面的に行った。

5. 近代五種競技に係る国際的な団体への加盟に関すること。

(1) アジア近代五種連合（AMPC）に関するコンGRES 会議に出席した。

6. 前各号に掲げるもののほか、この法人の目的を達成するための必要な事業に関すること。

(1) アンチ・ドーピング活動として合宿及びオンラインで指導講習会、全日本選手権大会のドーピング検査を実施した。（JSC スポーツくじ助成事業）

- (2) UIPM ルール改正における審判員の技能維持に必要な事業を推進した。
- (3) 国際大会運営に関する知識等を習得するためジュニア世界選手権大会(リトアニア)へ2名派遣し知識技能の習得を推進した。
- (4) 財政基盤確立の為、協賛企業と契約をした。

以上